

14、横川宗雄、吉村裕之、鈴木重一(1957)：大平肺吸虫の自然の追加、南伊豆地方で捕獲した狸の自然感染例、東京医事新誌74(1)：13~16
 15、横川宗雄、吉村裕之、小川千万樹、佐野基人、鈴木重一(1957)：南伊豆地方に於ける大平肺吸虫の分布、ベンケイガニに於けるメタセルカリアの寄生状況、東京医事新誌74(1)：17~20
 16、横川宗雄、吉村裕之、佐野基人、鈴木重一(1957)：南伊豆地方の大肺吸虫(3)、自然終宿主の追加、東京医事新誌74(7)：19~22
 17、横川宗雄、吉村裕之、鈴木重一(1957)：ウエステル

マン肺吸虫の狸に於ける感染実験、東京医事新誌74(9)：17~18
 18、当山堅一(1955)：肺ジストマ症、沖縄医学雑誌3(1)、52
 19、横川宗雄(1952)：寄生虫研究の実際、杏林書院
 20、佐々学(1957)：人体病害動物学、医学書院
 21、宮川米次(1960)：医学の動向才23集、寄生虫病研究の動向、金原出版株式会社
 22、宮川米次(1940)：原中、寄生虫、日本医事年鑑(597~599)、昭和15年日本医事新報社発行

『沖縄産パイン罐詰中の錫含量について』

田 頭 政 直

(まえがき)

沖縄産パイン罐詰中の果汁に溶出してくる錫量及び酸度について定量する機会を得たので報告する。

PH；ビタミン及び罐圧については器具の都合で省略した。

(実施方法)

酸度は果汁部につき常法により定量した。

錫は果汁100mlをとり硫酸で分解後、衛生検査指針の重量法に従い定量を行った。

(実験結果)

罐番号	罐外観	内 容	(g) 罐重量	(g) 内容全量	(g) 果実量	(c.c) 液 量	(%) 酸 度	mg/100.cc 錫 量	人工着色料
1	正 常	コマギレ	95	590	325	250	0.97	7.48	(-)
2	正 常	コマギレ	95	590	355	220	0.77	7.40	(-)
3	正 常	コマギレ	95	590	380	200	0.90	8.66	(-)
4	正 常	チュース	95	535	0	510	1.57	21.42	(-)
5	正 常	コマギレ	95	570	480	190	1.12	9.61	(-)
6	正 常	コマギレ	95	585	465	195	0.97	4.72	(-)
7	正 常	正 形	95	610	465	220	1.21	7.48	(-)
8	正 常	正 形	95	570	480	175	1.05	12.84	(-)
9	正 常	チュース	95	565	0	540	0.54	7.87	(-)
10	正 常	チュース	95	570	0	530	1.21	9.21	(-)

パインチュース罐詰を開罐後5~10°Cの冷蔵庫中に保管した時の錫溶出量は下記の通りであつた。

酸度と錫量は比例しなかつた。

開罐後放置すると錫量は48時間後に2~3倍となつた。

	開罐直後	24時間後	48時間後
検 体 A	7.87mg	15.28mg	20.40mg
検 体 B	9.21mg	13.23mg	19.46mg

(むすび)

錫含量は2件に多く、内1件は清浄飲料水の錫限度以上あつたが、その他は正常値であつた。